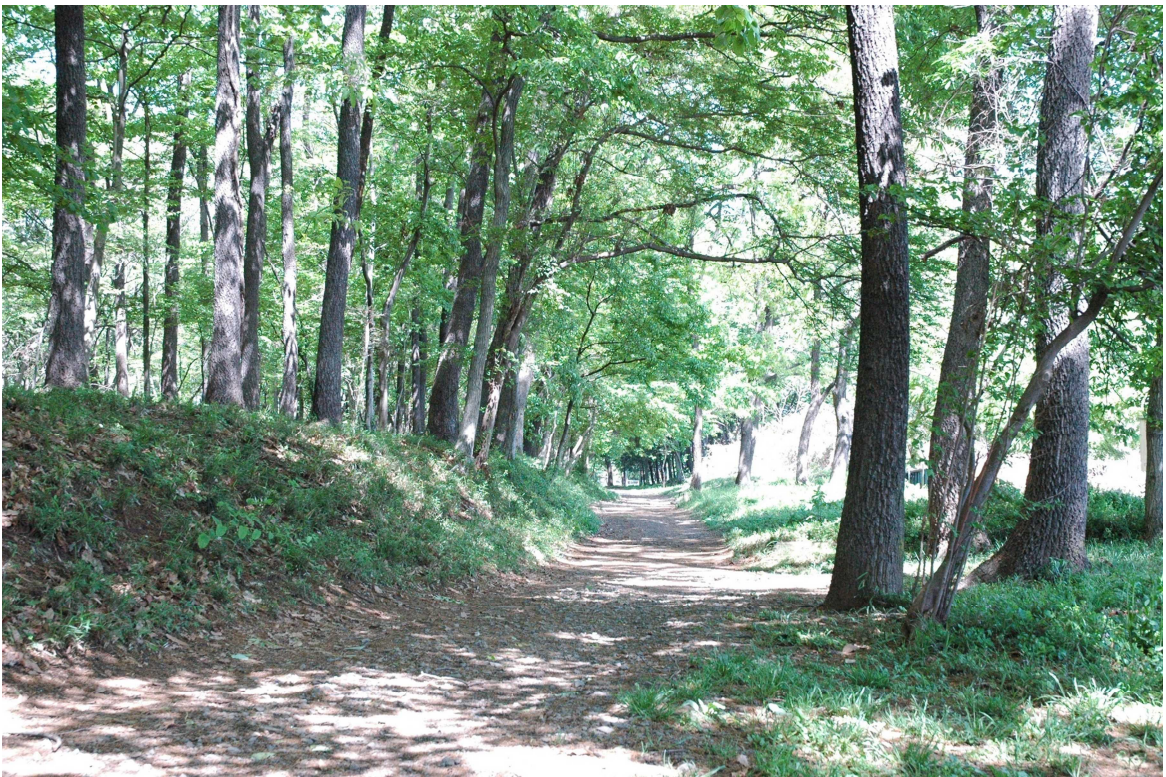


令和5年度

毛呂山町の教育



令和4年11月10日指定

『国指定史跡 鎌倉街道上道』

毛呂山町教育委員会

毛呂山町民憲章

平成2年4月1日制定

毛呂山は恵まれた自然と先人の築いた歴史を持つまちです。わたくしたちは、ふるさと毛呂山に住むことを誇りに思い、さらに住みよいまちづくりをすすめるため、ここに町民憲章を定めます。

- 1 ふるさとを愛し、緑と清流をまもります。
- 1 きまりをまもり、明るいまちをつくります。
- 1 ふれあいの輪を広げ、思いやりの心を育てます。
- 1 スポーツに親しみ、健康な家庭を築きます。
- 1 教養を深め、文化のかおりを高めます。



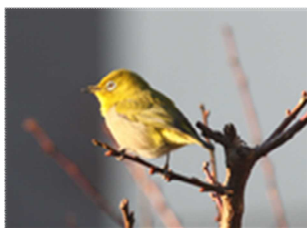
町の花・きく（キク科キク属の多年草）

きくは品種が非常に多く、花色は白・黄・桃・紅など様々。園芸上は大菊・中菊・小菊に、咲く形状により管物・厚物・平物などに分けられ、開花期も長く、栽培が比較的容易なため、世界各国で栽培されています。



町の木・ゆず（ミカン科の常緑低木）

町の特産物として古くから栽培されてきました。葉腋には棘があつて、葉柄には広い翼があります。5～6月頃枝先に白い5弁の花を開き、長寿の木とされ、実は独特の香りをもっています。



町の鳥・めじろ（スズメ目メジロ科）

黄緑色の体と、眼の周りの白い輪が特徴的な小鳥。花の蜜や果実を好んで食べ、四季を通じ町内全域で見ることができ、鳴き声の美しい低山の鳥です。

目 次

はじめに	1
教育長及び教育委員紹介・毛呂山町の概況	2
第3期毛呂山町教育振興基本計画	3
令和5年度毛呂山町教育行政重点施策	4
□教育行財政	
・事務局組織の主な事務と教育機関	18
・教育財政	19
・令和5年度並びに令和4年度教育費当初予算（歳出）	20
・学校施設の現況	22
・学校別児童・生徒数と今後の見込み	23
□学校教育	
・学校教育	24
・教育センター	29
・学校給食センター	31
・毛呂山小学校	33
・川角小学校	34
・光山小学校	35
・泉野小学校	36
・毛呂山中学校	37
・川角中学校	38
□生涯学習	
・生涯学習	39
・スポーツ振興	44
・中央公民館	48
・東公民館	52
・図書館	57
・総合公園	61
・歴史民俗資料館	64
□資料編	
・歴代町長・歴代助役・歴代副町長・歴代教育長	69
・歴代教育委員長・歴代教育長職務代理者	70
・歴代委員	71
・教育委員会委嘱委員一覧	72
・令和5年度町立小・中学校教職員数一覧	73

はじめに

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日に感染症法上の5類感染症に移行し、これまでの様々な感染拡大防止対策が緩和され、社会生活においてもコロナ禍以前の活動が展開されるようになりました。コロナ禍での終息の兆しが見えない状況の中では、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」等が発令され、社会生活や教育現場で緊急時に備えた対応と安全・安心な日常生活や学校及び社会教育活動に、また町内各公共施設の利用制限に町民の皆様にご理解とご協力いただき、感染拡大が防止できましたことに、心より御礼申し上げます。

この間、毛呂山町内各学校では創意と工夫を生かし感染防止対策を講じながらの学習活動に取り組んできました。児童生徒は感染拡大防止の主旨を理解し、自らの安全と周囲の仲間を思いやる言動をとり、互いの人権を尊重する生活を過ごしてきました。教職員は、児童生徒の様々な不安やストレスの解消、心のケアに努め、家庭と連携した指導を継続してきました。また町教育の大きな柱である「未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト」事業の展開には、感染拡大防止対策を講じ、『できるところから』を合言葉に児童生徒の体験活動や交流を再開してきました。今後も引き続き毛呂山中学校区、川角中学校区のコミュニティ・スクールを中心に、地域との交流等を通し充実した事業が展開できるよう、より一層創意を生かした取組を実施してまいります。

教育委員会では、令和3年度より7年度までの5年間、『「第3期 毛呂山町教育振興基本計画」－基本理念 みんなで育てよう毛呂山の未来！－』に基づき、教育の振興を図ってまいります。教育を取り巻く社会の動向と社会状況の変化を適切に見極め、一つひとつの課題に対応すべく「3つの基本方針 7つの基本目標」を策定しております。各小・中学校では、「未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト」の推進を通して9年間を見通した教育課程の編成と実施、児童生徒の「確かな学力」の向上、地域を担う人づくり、コミュニティ・スクールの推進での学校・家庭・地域の人づくりに、学校を核とした地域の組織力を発揮して取り組んでまいります。また、タブレット端末を活用してのGIGAスクール構想の着実な推進に、デジタル技術の良さを生かした多様な学びの充実やオンライン学習による学びの継続と家庭学習の充実をさらに進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症5類移行後の教育活動は、単にコロナ禍以前の活動に戻るのではなく、これまで制限されてきた諸活動のうち真に必要なものを回復させるとともに、新たに生み出されてきた多様な活動実践の工夫を取り入れてまいります。今後も安全・安心な学びの場を提供することを念頭に、町民の皆様のニーズに合った学習の場の提供に努力してまいります。

結びに「毛呂山町の教育」を多くの皆様にご高覧いただき、毛呂山町教育行政に対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

毛呂山町教育委員会教育長 高 沢 佳 弘

【教育長及び教育委員紹介】

令和5年5月1日現在



教育長
高沢 佳弘
(任期)
R5.1.4
┆
R8.1.3



教育長
職務代理者
丸木 清之
(任期)
R4.10.1
┆
R8.9.30



教育委員
岡崎 真理
(任期)
R2.10.1
┆
R6.9.30



教育委員
瀬山 亜佳子
(任期)
R元.10.1
┆
R5.9.30



教育委員
寄崎 順子
(任期)
R3.10.1
┆
R7.9.30

毛呂山町の概況

位置と地勢

毛呂山町は埼玉県の南西部に位置し、東は坂戸市、南は日高市、西は飯能市、北は越生町・鳩山町に隣接しています。町域は東西約9km・南北約7.5kmと東西に長く、34.07km²の面積を有し、都心から50km圏で町の中央をJR八高線と東武越生線が走り、人々の輸送を円滑にしています。

町のほぼ中央にあたる毛呂本郷から宿谷を結ぶ八王子構造線が、東を肥沃な関東平野、西を秩父山地に分けており、日高市との境に沿って東に向けて毛呂山丘陵が突出し、町の北部に岩殿丘陵の一部が張り出しています。

町の中央に位置する小高い丘は、出雲伊波比神社がどっしり構える臥竜山。この丘は地質学的にも珍しい分離丘陵で、西側の秩父山地の先端が八王子構造線の断層によって切り離されてできた丘ではないかと言われています。このように毛呂山町は台地に恵まれ、越辺川や毛呂川を始めとする数本の清流が織り込まれた山すその町です。

沿革

出雲伊波比神社はすでに奈良時代には登場し、大規模な古墳群も発見されていることから、町の歴史はかなり古いものと思われます。明治22年、毛呂村、滝野入村、川角村が発足。明治24年滝野入村が村名を山根村に変更。昭和14年、毛呂村と山根村が合併して、旧毛呂山町となり、昭和30年4月1日、旧毛呂山町と川角村が合併して、現在の毛呂山町が誕生しました。当時11,000人余りだった人口は、令和5年5月1日現在32,460人となっています。

第3期 毛呂山町教育振興基本計画

令和3年度～令和7年度

(基本理念・基本方針・基本目標について)



毛呂山町教育振興基本計画とは

- ◆ 教育基本法に基づく、本町の教育振興基本計画です。
- ◆ 町政全般の総合的な計画である「第五次毛呂山町総合振興計画」を踏まえた、教育分野の計画です。
- ◆ 中長期的な視点に立って策定した計画です。

基本理念

みんなで育てよう毛呂山の未来！

変化の激しい社会を生き抜くためには、生涯にわたって学び続け変化への対応力や主体的に社会に関わる積極性、新たな価値を生み出す想像力など、直面する課題を乗り越えていく力を身に付けることが必要です。第2期計画を継承し、第3期計画でも引き続き「みんなで育てよう毛呂山の未来！」を基本理念として教育の振興を図ります。

基本方針

基本理念を踏まえて、基本目標の実現に向け施策を実施していくに当たっては、次の3つの方針を重視して取り組みます。

未来を拓く学校づくり

平成30年度に策定した「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」に基づき、義務教育9年間を一体のものとし、小中学校で連続性と発展性をもって子どもたちを育成します。

地域を担う人づくり

継続的に学習に取り組むことができる体制をつくり、多様な学習内容や学習機会を充実することにより、地域を担う人を生み出します。

学校・家庭・地域のきずなづくり

コミュニティ・スクールを推進することで、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めるとともに、郷土への愛着心を育み、学校、家庭、地域のきずなを深めます。

7つの基本目標

本計画の基本理念を踏まえ、今後5年間に取り組む教育行政の7つの基本目標を示します。

基本目標Ⅰ 確かな学力の定着と自立する力の育成

基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

基本目標Ⅴ 生涯を通じた多様な学習活動の振興

基本目標Ⅵ 生涯スポーツの振興

基本目標Ⅶ 歴史・文化の継承と郷土を愛する心の育成

令和5年度 毛呂山町教育行政重点施策

基本理念

みんなで育てよう毛呂山の未来！

基本方針

- ◆未来を拓く学校づくり
- ◆地域を担う人づくり
- ◆学校・家庭・地域のきずなづくり

「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」の育成
～小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進～



毛呂山町教育委員会



基本目標



基本目標Ⅰ 確かな学力の定着と自立する力の育成

- 1 「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」研究事業の展開
- 2 児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の推進
- 3 進路指導・キャリア教育の推進
- 4 異校種間連携の推進
- 5 特別支援教育の推進

基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

- 1 道徳教育の充実
- 2 生徒指導の充実
- 3 いじめ・不登校対策の充実
- 4 体力の向上と学校体育活動の推進
- 5 食育の推進と学校給食の充実
- 6 人権を尊重した教育の推進

基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

- 1 教育環境の整備・充実
- 2 教職員の資質の向上
- 3 安全・安心な学校づくりの推進

基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

- 1 家庭教育支援体制の充実
- 2 放課後の児童への学習支援
- 3 地域学校協働活動の推進・充実

基本目標Ⅴ 生涯を通じた多様な学習活動の振興

- 1 生涯学習推進体制の整備・充実
- 2 学習機会の提供と学習活動の支援
- 3 人材の育成と学習成果の地域還元
- 4 地域ぐるみでの青少年育成活動の推進
- 5 人権教育の推進

基本目標Ⅵ 生涯スポーツの振興

- 1 生涯スポーツの普及促進
- 2 スポーツ団体・人材の育成と活用
- 3 体育施設の整備と利用促進

基本目標Ⅶ 歴史・文化の継承と郷土を愛する心の育成

- 1 文化財の保存及び活用の推進
- 2 歴史民俗資料館による学習機会の提供と学習活動の支援
- 3 郷土を理解する教育の推進
- 4 鎌倉街道上道及び周辺文化財群の保存活用

基本目標Ⅰ 確かな学力の定着と自立する力の育成

未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクトのもと、基本理念を「地域をつなぎ、『いのち』輝く日本一の学校をめざして」として、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進し、夢をもち世界にはばたく毛呂山の子どもを育成します。

基礎的・応用的な学力、豊かな人間性、心身ともに健康な体を育成し、自立する力を培う教育を推進します。

1 「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」研究事業の展開

各中学校区、校長のリーダーシップのもと、小・中学校教職員が一体となり、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進します。

学習指導要領の趣旨に則り、応用力や発展的な学力を含めた「確かな学力」の育成を目指す教育を推進します。

（予算11,766千円）

- ◆「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」研究事業の実施（小中一貫教育の研究・教育課程の研究・授業研究会の開催）
- ◆学力向上対策委員会の開催と特色ある学校教育の実現に向けての研究
- ◆全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査等の実施と結果の分析・活用
- ◆外国語教育・環境教育・国際理解教育・ボランティア・福祉教育の充実
- ◆中学生学力アップ教室の開催
- ◆海外留学疑似体験の開催
- ◆家庭学習の充実（やる気アップデー・PTAとの連携）
- ◆特別活動の推進

（担当：学校教育課・教育センター）

2 児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の推進

児童生徒の理解度に合わせた授業を実施し、きめ細かな指導の充実を図ります。

（予算24,823千円）

- ◆学力向上支援員・小学校理科支援員の配置
- ◆学校支援員の配置
- ◆教員業務支援員の配置
- ◆教員向けICT研修の実施

（担当：学校教育課）

3 進路指導・キャリア教育の推進

児童生徒が地域社会での職業体験や勤労体験、また、学習活動や諸活動へ積極的に関わり、自分自身の力で進路選択ができるように指導・支援します。

（予算44千円）

- ◆中学校社会体験チャレンジ事業の実施
- ◆小・中学校の9年間を見通した進路指導・キャリア教育の指導計画の整備・見直し

（担当：学校教育課）

4 異校種間連携の推進

小中一貫教育を推進し、中1ギャップ等の学校課題に対応するとともに、幼稚園・保育園・認定こども園等との連携により、小1プロブレムの解消を目指します。

幼稚園・保育園・認定こども園等と小学校と中学校の連携を推進し、なめらかな接続を目指します。

- ◆幼保小中連絡協議会の開催（全4回）
- ◆小・中連絡協議会の開催（各中学校区 年3回）

（担当：学校教育課・教育センター）

5 特別支援教育の推進

一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進します。

（予算830千円）

- ◆就学相談の開催と就学支援委員会の実施
- ◆個別検査の実施
- ◆福祉施設や特別支援学校との連携
- ◆教職員の資質向上のための研修会の実施
- ◆就学奨励費支給事業の推進

（担当：学校教育課・教育センター）

基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

児童生徒が心身ともに健全に育つことができるよう、道徳教育の充実を図ります。また、コミュニティ・スクールの機能を生かし、家庭・地域と連携し、児童生徒一人一人の気持ちに寄り添った指導を行い、いじめ・不登校対策の充実を図ります。

1 道徳教育の充実

「いのちの教育」を推進するために、話し合い活動や体験活動を重視した道徳の授業を展開します。

- ◆「いのちの教育」の充実（道徳教育の充実、医療・福祉・防災等との連携）
- ◆学習指導要領に対応した「特別の教科 道徳」と位置づけられることを踏まえた、児童生徒一人一人を見つめる適切な評価方法の確立
- ◆体験活動の充実（社会奉仕・福祉体験活動・職場体験・自然体験学習・防災訓練）
- ◆読書活動の推進（町立図書館との連携）
- ◆埼玉医科大学学生との交流授業の実施（担当：学校教育課）

2 生徒指導の充実

学校・家庭・地域・関係機関の連携を深め、児童生徒一人一人の気持ちに寄り添った指導で、児童生徒へのサポート体制を強化します。

- ◆いじめ・非行防止学校支援推進事業における学区域の関係機関との連携
- ◆スクールソーシャルワーカー（教育センター）の配置及び各校への派遣
- ◆非行防止教室・薬物乱用防止教室の実施（各学校1回以上実施予定）
- ◆専任相談員による電話・来所相談
- ◆スクールカウンセラーの各学校への派遣
- ◆生徒指導主任研修会の実施（担当：学校教育課・教育センター）



3 いじめ・不登校対策の充実

小・中学校の情報連携に必要な組織づくり等の研究のため、小中一貫教育を実施します。「いじめ防止対策推進法」や、町の「いじめ防止基本方針」に基づいた、定期的なアンケート調査や個人面談を実施し、いじめ防止、早期発見、早期対応のための体制を堅持します。

(予算7,418千円)

- ◆いじめ問題対策連絡協議会の開催(年2回)
- ◆いじめ防止対策推進委員会の開催(年1回)
- ◆「いじめ防止基本方針」に基づいた「重大事態」の発生に伴う対応マニュアルの周知徹底
- ◆不登校対策委員会の開催及び、事例研修会の実施
- ◆スクールカウンセラー(各小・中学校)の派遣、不登校対策相談員(各中学校)、専任相談員(教育センター)の配置による教育相談体制の充実
- ◆専任相談員による児童生徒・保護者の来所相談、電話相談の実施
- ◆教育支援センターの設置と指導員の配置
- ◆要保護児童対策地域連絡協議会への参加等による関係機関との連携
- ◆登校が難しい児童生徒に対して、リモートによる学習機会を提供

(担当：学校教育課・教育センター)

4 体力の向上と学校体育活動の推進

学校の教育活動全体を通して、児童生徒の体力の向上に取り組みます。

(予算200千円)

- ◆体力向上推進委員会の開催と体育授業研究会の充実(年4回)
- ◆部活動外部指導員の配置による生徒の技術及び体力の向上(中学校)

(担当：学校教育課)

5 食育の推進と学校給食の充実

知・徳・体の基盤となる食育を推進するために、学校給食を活用した食育を実施するとともに、安全・安心な学校給食を実施します。また子どもの健康増進・食育の推進を図るため、小中学校における健康・食育指導を実施します。

(予算81,455千円)

- ◆調理・配送業務民間委託の導入
- ◆栄養教諭による食に関する指導の実施
- ◆地場産物を活用した特色ある献立の導入
- ◆安全・安心な給食を提供するための衛生管理・食材の安全確保の徹底
- ◆学校給食調理施設の維持・管理
- ◆食物アレルギー対策の充実
- ◆子どもの食育・健康教育の推進（早寝、早起き、朝ごはん）

(担当：学校教育課・学校給食センター)

6 人権を尊重した教育の推進

様々な人権問題についての理解と課題解決を学校の教育活動の重要なテーマとして位置づけ、教育活動を推進します。

(予算30千円)

- ◆教職員対象人権教育講演会の実施（年1回）
- ◆人権感覚育成プログラムを活用した授業研究会による人権教育指導方法の工夫改善
- ◆各学校での人権教育の推進に向けた様々な取組の実施

(担当：学校教育課・教育センター)



基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

安全・安心で快適な教育環境を確保するための施設及び設備の維持改修と小中一貫教育を推進するための施設・環境整備を進めてまいります。

教職員の資質・能力の向上を図り、優れた指導力と使命感を兼ね備えた教職員を育成するため、教職員の経験年数や年齢等に応じた研修を行い学校の教育力を高めます。

1 教育環境の整備・充実

児童生徒が安全で安心して過ごせるよう校舎等の学校施設を計画的に改修し、快適な学習環境づくりを進めます。

(予算額14,713千円)

- ◆小学校受変電設備改修工事
- ◆小・中学校特別教室空調設備設置工事設計業務委託
- ◆施設修繕
- ◆学校編成計画策定

(担当：教育総務課)

2 教職員の資質の向上

適切な研修や専門研修などを行い、教職員の資質・能力を向上させるとともに、「目指す学校像」を基に一貫した学校運営を行います。

(予算2,249千円)

- ◆学習指導要領に対応した各教科・領域別授業研究会の開催
- ◆初任者、2・3年経験者、若手・中堅教員、臨時的任用教員対象の授業研究会の開催
- ◆会計年度任用職員対象の研修会等の開催
- ◆人事評価制度を活かした、全教職員の学校運営への参画の推進

(担当：学校教育課・教育センター)

3 安全・安心な学校づくりの推進

児童生徒の安全と安心を確保するため学校安全計画を整備し、適切に実施するとともに、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒が自ら危機対応能力の基礎を身につけることができる教育を推進します。

- ◆危機管理マニュアルの周知と避難訓練（地域合同避難訓練等）及び西入間警察署と連携した交通安全教室の実施と充実
- ◆防犯ボランティア団体及び地域と連携した登下校時の安全指導（小中合同一斉下校等）の推進

(担当：学校教育課)

基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

家庭・地域の教育力の向上のため、地域教育支援体制の充実を図り、放課後の児童への学習支援を行います。また、地域学校協働活動の推進・充実に努めます。

1 家庭教育支援体制の充実

地域住民による学校支援活動を積極的に推進し、教育力の向上を図るとともに、学校・家庭・地域の絆を深めます。

- ◆「やる気アップデー（毎月第一日曜日）」の充実
- ◆家庭啓発パンフレット「のびよ！毛呂山っ子」等による家庭教育の習慣化を推進
(担当：学校教育課)

2 放課後の児童への学習支援

放課後の児童の安全・安心な居場所づくりと学習支援のため、放課後学習教室を開設します。
(予算3,445千円)

- ◆小学校の余裕教室にて行う「放課後学習教室」の開催
(担当：生涯学習課)

3 地域学校協働活動の推進・充実

学校応援団やゲストティーチャーなど、地域住民が学校を支援する取り組みと学校を核として地域コミュニティの活性化を図る取り組みを地域学校協働活動と称し、その活動を推進し充実に図ります。

(予算383千円)

- ◆中学校区を単位とした「学校運営協議会」の開催
- ◆学校と地域住民の連絡調整を担う「地域学校協働活動推進員」の配置
- ◆地域学校協働活動の支援（学校応援団やゲストティーチャーなど）
- ◆地域学校協働活動の拠点となるコミュニティ・ルームの設置
(担当：学校教育課・生涯学習課)

基本目標Ⅴ 生涯を通じた多様な学習活動の振興

生涯学習推進体制の整備・充実を図り、学習機会の提供と学習活動の支援に努め、人材育成と学習成果の地域還元の仕事づくりを進めます。また、青少年育成活動や人権教育を推進します。

1 生涯学習推進体制の整備・充実

社会の変化に対応し、関係部署や団体等と連携し、生涯学習体制の整備・充実に努めます。

(予算9,480千円)

- ◆社会教育委員会議の開催
- ◆町ホームページ等での学習情報提供の充実
- ◆近隣の大学などとの協働による「こども大学にしているま」の開催

(担当：生涯学習課・公民館・図書館・歴史民俗資料館)

2 学習機会の提供と学習活動の支援

町民が、心身ともに健康的な生活を送れるように、いつでも必要な時に自由に学ぶことのできる場所や機会の提供を行い、町民の学習活動を支援します。また、これまで以上に学習機会の提供に努め、町民の学習活動を支援します。

(予算1,491千円)

- ◆児童生徒の保護者等を対象とした「親の学習講座」の開催
- ◆心豊かな生活を送ることを目的とした「いきいき大学もろやま」の開催
- ◆社会教育施設の維持・管理
- ◆電子図書館の維持・管理

(担当：生涯学習課・公民館・図書館・歴史民俗資料館)

3 人材の育成と学習成果の地域還元

学習成果の発表機会を提供するにとどまらず、学習成果を地域に還元できる仕事づくりを進めます。

(予算2,082千円)

- ◆芸能音楽祭の開催
- ◆公民館まつり・ふれあい文化祭の開催
- ◆地域学校協働活動における人材活用
- ◆ボランティア人材バンクの登録推進と有効活用

(担当：生涯学習課・公民館・歴史民俗資料館)

4 地域ぐるみでの青少年育成活動の推進

従来からの各種団体による青少年活動への支援に加え、インターネット上の有害情報への対応などに取り組みます。

(予算914千円)

- ◆青少年育成団体の支援
- ◆彩の国21世紀郷土かるた大会の開催
- ◆インターネットの危険性の啓発

(担当：生涯学習課)

5 人権教育の推進

人権に関わる学習を推進し、人権意識を高め、差別や偏見のない社会を目指します。

(予算391千円)

- ◆人権教育指導者養成研修事業の開催
- ◆生涯学習人権教育講座の開催
- ◆人権教育推進協議会の支援

(担当：生涯学習課)



基本目標Ⅵ 生涯スポーツの振興

健康の保持・増進や体づくり、さらにはコミュニティ意識の醸成のため、誰もが楽しく参加できるようなイベントやスポーツをする機会の提供に努めます。

1 生涯スポーツの普及促進

地域の連帯感などコミュニティの活性化にも繋がる地域交流の場としてのレクリエーション大会や、身近で気軽にスポーツを楽しむことができる軽スポーツ大会等を開催し、生涯スポーツの普及促進に努めます。また、健幸づくりのまちの推進を図るため、運動機会の提供に努めます。

(予算 2, 499千円)

- ◆町民レクリエーション大会
- ◆軽スポーツ大会・教室
- ◆町内バレーボール大会
- ◆名球会メモリアルカップ少年野球大会
- ◆ウォーキング教室、ウォーキングコースマップ作成
- ◆屋外遊具貸出事業

(担当：スポーツ振興課)

2 スポーツ団体・人材の育成と活用

毛呂山町体育協会等スポーツ団体との連携を図るとともに、スポーツ推進委員等指導者の資質向上のため、研修会への参加を促進します。また、町民のスポーツ活動の機会を支える指導者、協力者の発掘・育成・活用に努めます。

(予算 2, 934千円)

- ◆各種スポーツ団体等への補助
- ◆指導者の資質向上

(担当：スポーツ振興課)

3 体育施設の整備と利用促進

利用者が安心して利用でき、気軽にスポーツに親しめるよう、既存スポーツ・レクリエーション施設の計画的な維持・改修に努めます。

(予算 227, 507千円)

- ◆総合公園及び町体育施設修繕
- ◆総合公園体育館屋根及び外壁改修工事施工監理業務委託
- ◆総合公園体育館屋根及び外壁改修工事
- ◆ウォーキング環境整備事業

(担当：スポーツ振興課・総合公園)

基本目標Ⅶ 歴史・文化の継承と郷土を愛する心の育成

先人から受け継がれてきた有形・無形の文化財を保存活用し、文化財保護の啓発に努めます。

町の歴史・文化の情報拠点である歴史民俗資料館が学習機会を提供し、学校教育と連携した効果的な郷土学習の支援を行い、児童生徒の郷土愛を育てます。また、国の史跡指定を受けた鎌倉街道上道の保存活用事業を進めます。

1 文化財の保存及び活用の推進

先人から受け継がれてきた貴重な文化遺産が滅失しないよう、文化財の調査や普及事業、景観保全事業を行い、文化財保護の啓発に努めます。また、出雲伊波比神社のやぶさめ等の無形民俗文化財の価値を住民に発信し、伝統文化の保存継承を支援します。

(予算12,783千円)

- ◆文化財調査及び景観保全事業の実施
- ◆埋蔵文化財の調査
- ◆流鏝馬の調査研究及び流鏝馬伝承調査報告書を活用した普及事業の実施
- ◆無形民俗文化財の保存継承に対する支援 (担当：歴史民俗資料館)

2 歴史民俗資料館による学習機会の提供と学習活動の支援

収蔵資料を適切に後世に伝え、活用できるよう整備し、展示事業をはじめ、体験学習会など様々な学習機会を提供します。また、当館ボランティアによる学習活動を支援し、ボランティアとの協働事業を進めます。

(予算5,286千円)

- ◆収蔵資料の整備、燻蒸消毒
- ◆常設展示の開館30周年展示替え
- ◆企画展等の展示活動
- ◆講座・体験学習会の開催
- ◆資料館サポーターやサークルと連携した協働事業の実施 (担当：歴史民俗資料館)

3 郷土を理解する教育の推進

先人から受け継がれてきた郷土の文化遺産や芸能について学ぶ機会を創出し、学校教育との連携により、児童生徒の郷土理解と郷土愛の醸成に努めます。

- ◆鎌倉街道上道や流鏝馬、郷土の人物をテーマにした出前授業
- ◆社会科研究展、社会科研究発表会の充実 (担当：歴史民俗資料館)

4 鎌倉街道上道及び周辺文化財群の保存活用

国指定史跡鎌倉街道上道の価値の普及と史跡の取り扱いについて周知に努め、今後の保存・管理及び整備・活用の基本的な方針を定める保存活用計画の策定に向けた事業を進めます。

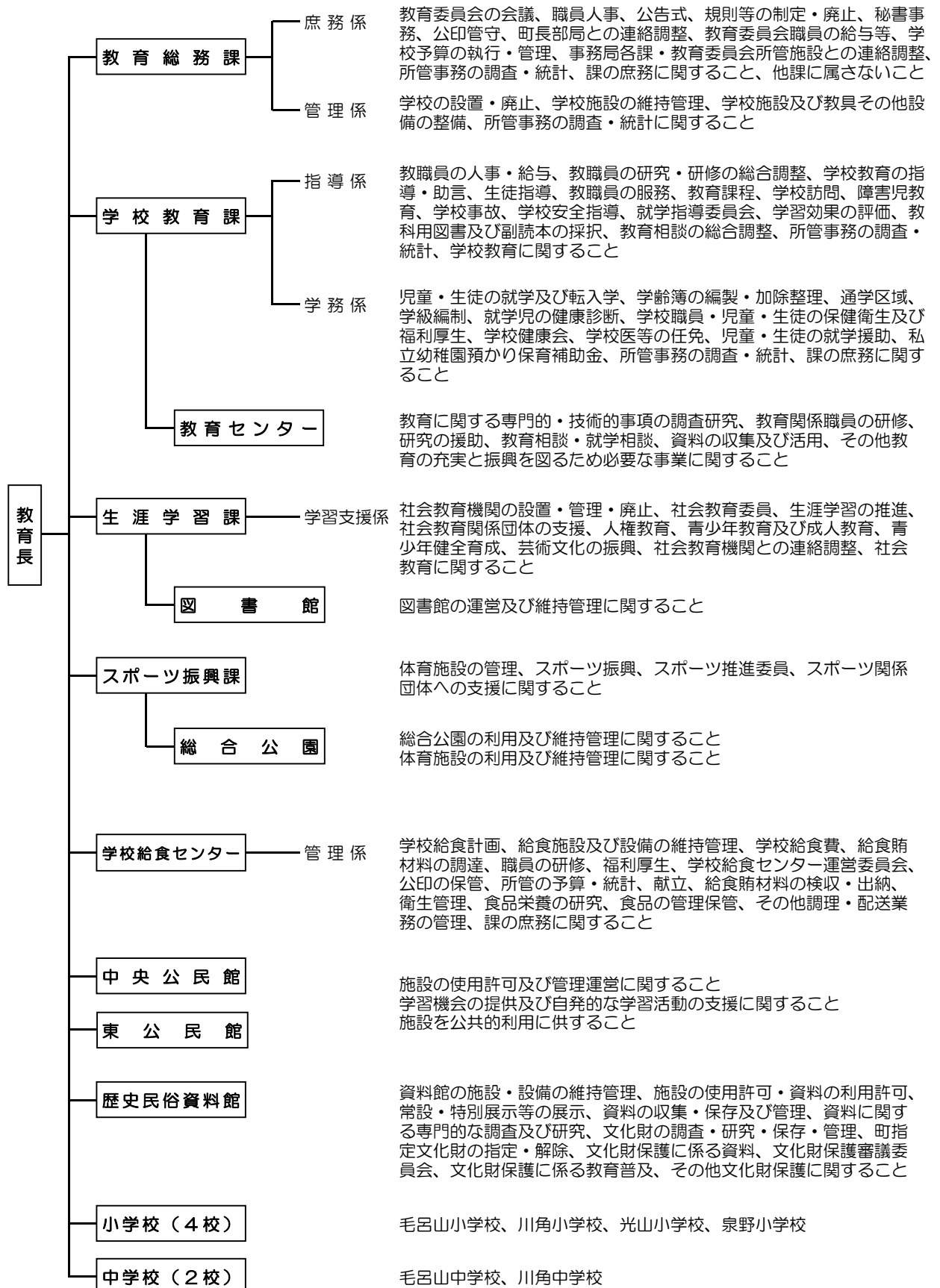
(予算1,453千円)

- ◆ボランティアガイドによる史跡ガイドの実施
- ◆「鎌倉街道と古墳の森」保存活用事業の実施
- ◆鎌倉街道上道シンポジウムの開催

(担当：歴史民俗資料館)



事務局組織の主な事務と教育機関

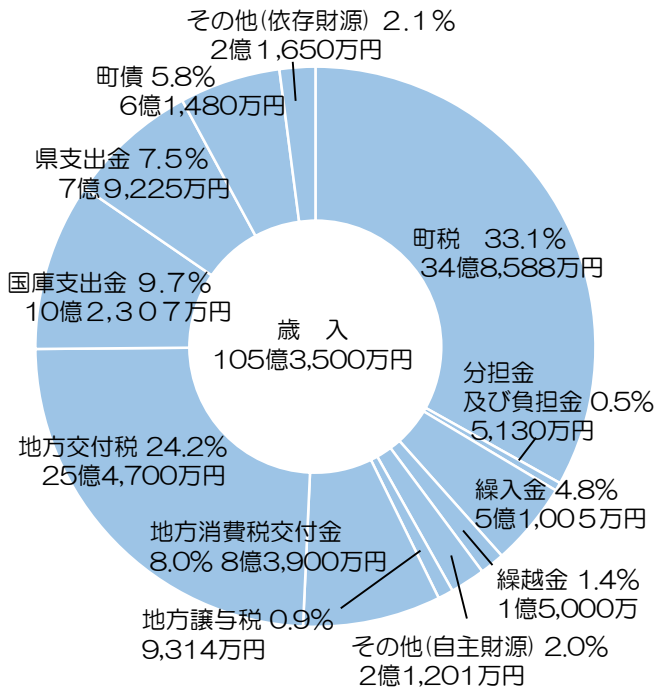


教育 財 政

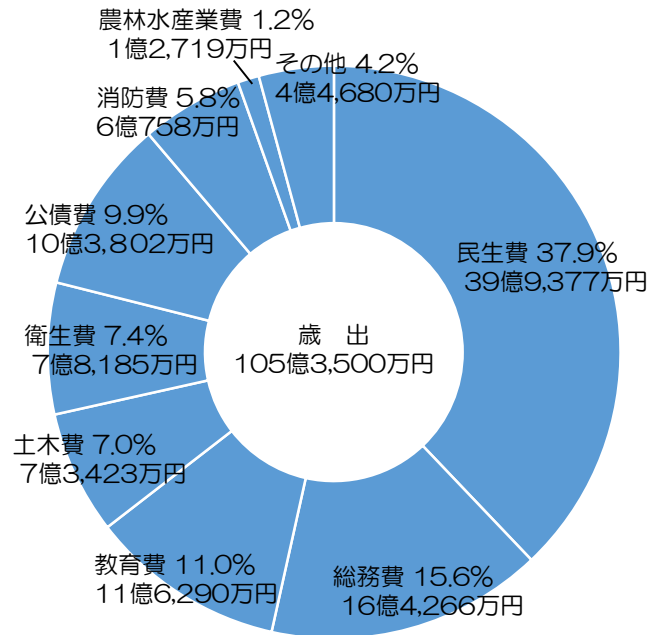
令和5年度の一般会計予算額は、105億3,500万円で、前年度と比較すると6億5,500万円、約6.6%の増額となっています。

このうち教育費予算額は、総額11億6,290万円で、一般会計予算額の約11.0%を占め、前年度対比では、2億3,644万4千円、約25.5%の増額となっています。

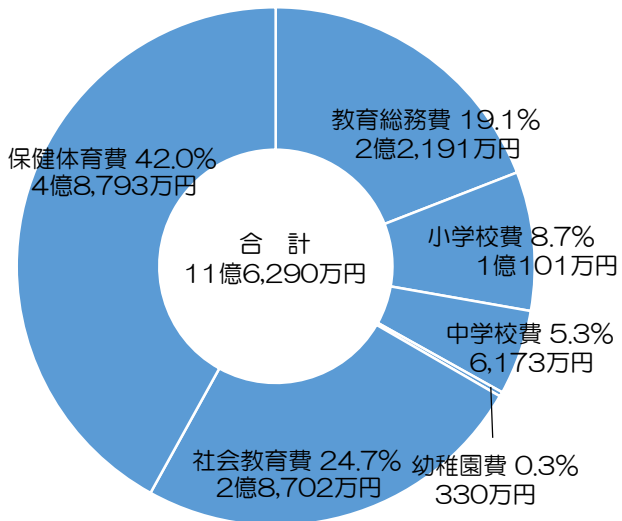
令和5年度 毛呂山町一般会計歳入



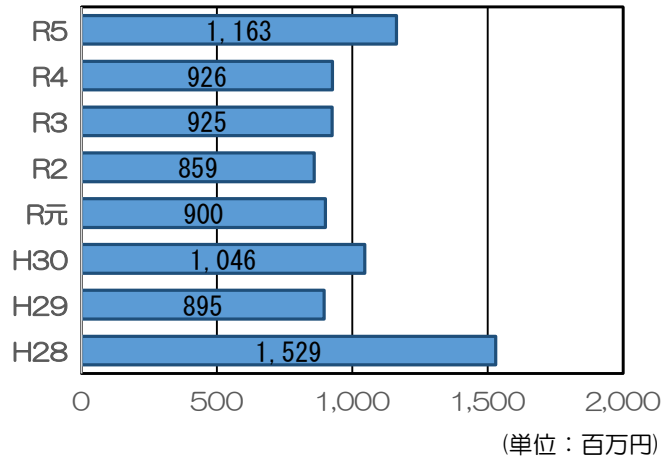
令和5年度 毛呂山町一般会計歳出



令和5年度 教育費目的別当初予算の構成



教育費当初予算の推移
(年度)



令和5年度並びに令和4年度教育費当初予算（歳出）

（単位：千円・％）

年 度		R5年度 当初予算	R4年度 当初予算	比較増減額	対前年度比較
一 般 会 計 総 額		10,535,000	9,880,000	655,000	6.63
教 育 費 総 額		1,162,900	926,456	236,444	25.52
項 目					
1 教育総務費		221,908	230,721	△ 8,813	△ 3.82
	1 教育委員会費	1,527	1,533	△ 6	△ 0.39
	2 事務局費	218,429	226,522	△ 8,093	△ 3.57
	3 教育センター費	1,952	2,666	△ 714	△ 26.78
2 小学校費		101,005	96,090	4,915	5.11
	1 学校管理費	88,014	82,653	5,361	6.49
	2 教育振興費	12,991	13,437	△ 446	△ 3.32
3 中学校費		61,734	65,784	△ 4,050	△ 6.16
	1 学校管理費	47,140	51,326	△ 4,186	△ 8.16
	2 教育振興費	14,594	14,458	136	0.94
4 幼稚園費		3,300	3,506	△ 206	△ 5.88
	1 教育振興費	3,300	3,506	△ 206	△ 5.88
5 社会教育費		287,023	292,015	△ 4,992	△ 1.71
	1 社会教育総務費	191,831	162,413	29,418	18.11
	2 公民館費	20,775	50,012	△ 29,237	△ 58.46
	3 図書館費	60,769	68,784	△ 8,015	△ 11.65
	4 歴史民俗資料館費	13,648	10,806	2,842	26.30
6 保健体育費		487,930	238,340	249,590	104.72
	1 保健体育総務費	6,294	6,038	256	4.24
	2 体育施設費	276,044	45,013	231,031	513.25
	3 学校給食費	205,592	187,289	18,303	9.77

児童 1 人当たりの教育費

	児童数	小学校費（児童 1 人当たり）		
		学校管理費	教育振興費	合計
H29年度	1,487人	58,072円	8,236円	66,308円
H30年度	1,426人	72,296円	8,136円	80,432円
R元年度	1,348人	52,262円	8,606円	60,868円
R2年度	1,291人	124,122円	4,913円	129,035円
R3年度	1,214人	107,936円	11,591円	119,527円
R4年度	1,187人	69,632円	11,320円	80,952円
R5年度	1,131人	77,820円	11,486円	89,306円

(R4年度及び5年度は当初予算額)

生徒 1 人当たりの教育費

	生徒数	中学校費（生徒 1 人当たり）		
		学校管理費	教育振興費	合計
H29年度	847人	358,496円	17,811円	376,307円
H30年度	799人	238,278円	16,376円	254,654円
R元年度	771人	58,277円	16,936円	75,213円
R2年度	754人	117,284円	11,603円	128,887円
R3年度	694人	73,722円	20,134円	93,856円
R4年度	691人	74,278円	20,923円	95,201円
R5年度	670人	70,358円	21,782円	92,140円

(R4年度及び5年度は当初予算額)

学 校 施 設 の 現 況

小学校

学校名	校舎 (㎡)			屋内運動場 (㎡)		校地 (㎡)				プール
	鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	計	体育館	武道場	建物敷地	運動場	計	借地	
毛呂山小	4,787	228	5,015	944	—	8,863	11,299	20,162	—	6J-λ25m
川角小	4,903	65	4,968	939	—	9,923	7,149	17,072	—	6J-λ25m
光山小	5,809	102	5,911	944	—	10,090	12,054	22,144	—	6J-λ25m
泉野小	4,710	708	5,418	941	—	12,285	12,088	24,373	—	6J-λ25m

中学校

学校名	校舎 (㎡)			屋内運動場 (㎡)		校地 (㎡)				プール
	鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	計	体育館	武道場	建物敷地	運動場	計	借地	
毛呂山中	5,020	77	5,097	1,698	389	10,679	14,388	25,067	—	7J-λ25m
川角中	5,936	165	6,101	1,345	397	14,070	19,054	34,887	1,763	7J-λ25m

令和5年5月1日現在、公立学校施設台帳より

学校別児童・生徒数と今後の見込み

各年度5月1日現在

年度	小学校					中学校		
	毛呂山	川 角	光 山	泉 野	計	毛呂山	川 角	計
H02	771	602	765	764	2,902	862	902	1,764
H03	757	551	758	735	2,801	825	850	1,675
H04	746	527	744	718	2,735	837	803	1,640
H05	740	513	730	681	2,664	783	722	1,505
H06	711	482	702	662	2,557	786	737	1,523
H07	683	498	674	626	2,481	766	679	1,445
H08	644	466	661	585	2,356	774	673	1,447
H09	608	481	624	563	2,276	727	603	1,330
H10	607	463	598	514	2,182	704	609	1,313
H11	583	432	578	498	2,091	656	567	1,223
H12	565	415	571	494	2,045	639	542	1,181
H13	601	388	556	505	2,050	598	513	1,111
H14	569	381	532	511	1,993	558	490	1,048
H15	541	386	510	512	1,949	528	486	1,014
H16	512	384	467	567	1,930	507	468	975
H17	468	375	456	596	1,895	503	448	951
H18	475	362	427	591	1,855	507	436	943
H19	447	360	410	616	1,833	526	421	947
H20	459	386	395	625	1,865	513	425	938
H21	487	378	386	622	1,873	497	421	918
H22	474	373	384	608	1,839	508	401	909
H23	477	394	353	587	1,811	509	385	894
H24	483	393	340	554	1,770	540	368	908
H25	474	410	321	522	1,727	516	357	873
H26	466	401	302	504	1,673	517	377	894
H27	441	400	282	462	1,585	501	378	879
H28	418	410	272	454	1,554	490	399	889
H29	397	401	250	439	1,487	476	371	847
H30	370	403	239	414	1,426	458	341	799
R元	360	388	225	375	1,348	440	331	771
R2	352	385	213	341	1,291	433	321	754
R3	331	369	218	324	1,242	401	309	710
R4	326	360	214	287	1,187	399	292	691
R5	331	338	216	246	1,131	388	282	670

今後の見込み

年度	小学校					中学校		
	毛呂山	川 角	光 山	泉 野	計	毛呂山	川 角	計
R6	325	316	214	224	1,079	367	290	657
R7	318	287	199	218	1,022	306	285	591
R8	302	250	195	206	953	288	286	574
R9	287	230	181	204	902	272	271	543
R10	274	198	168	191	831	276	262	538
R11	266	177	149	182	774	253	244	497

学校教育

第3期毛呂山町教育振興基本計画「みんなで育てよう毛呂山の未来！」の理念に基づき、①確かな学力の定着と自立する力の育成、②豊かな心と健やかな体の育成、③質の高い学校教育を推進するための環境の充実、④家庭・地域の教育力の向上を基本目標として各施策を実施しています。

特に、毛呂山町では、「小中一貫教育推進事業」を展開し、学習指導要領で示された、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成のため、各中学校区による9年間を見通した学力向上の取組を推進しています。各学校は校長のリーダーシップのもと教育活動の工夫改善を推進しながら、次代を担い、たくましく生きる児童生徒の育成に向け、教職員、保護者、地域住民との連携強化による学校運営を行っています。

学習指導要領

小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から学習指導要領の改定が行われ、「生きる力」の育成という目標を継続する一方で、社会の変化を見据え、①学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間力等」、②実際の社会や社会の中で生きて働く「知識及び技能」、③未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の3つの力をバランスよく育成することを目指しています。これに伴い小学校では、「特別の教科道徳」、3・4年生の「外国語活動」、5・6年生の「外国語」、中学校では「特別の教科道徳」が新設されました。

各学校では、「何を学ぶか」だけでなく「何ができるようになるか」を目指した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等の取組を行っています。



小中一貫教育合同研修会（毛呂山中）
中学校授業体験

未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクトの推進

地域社会の現状として、高度情報化・国際化・少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、町の人口減少問題、小学校施設の老朽化等の課題から、学校教育環境等検討委員会（平成28年度設置）の検討結果を受け、平成30年度より「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」を推進しています。基本理念「地域をつなぎ『いのち』輝く日本一の学校をめざして」を掲げ、夢をもち世界にはばたく毛呂山の子どもを育成します。

本町は「医療と福祉の町」です。町内や近隣の大学との連携を図り、「いのち」の教育を推進します。特に他に類を見ない本プロジェクトの目玉としては、「官・民・学が連携し、地域の豊かな教育環境を活用し、児童生徒を育成する」ということです。本プロジェクトには町民と学校との関わりが重要となります。町民一人ひとりが学校を通して児童生徒と関わることで、世代間交流による地域コミュニティの広がりが生まれ、学校教育へ参画することで生きがいをもつこともできます。児

□ 学校教育

児童生徒には、学力の向上につながるだけでなく、思いやりの心や感謝の心等、豊かな人間性が育まれます。地域・世代・児童生徒・学校・教師が輝く教育を推進してまいります。

令和5年度 年間授業時数

標準授業時数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小学校	850	910	980	1,015	1,015	1,015
中学校	1,015	1,015	1,015			

令和5年度小中一貫教育推進事業と地域とともにある学校づくり

少子化が進む毛呂山町の学校の在り方について、平成25～26年度に「小中学校将来構想検討委員会」で、学校のあるべき基本的事項について、平成28～29年度「学校教育環境等検討委員会」で、学校教育の将来的な在り方として「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）に向けて」を報告いただき、平成30年度に「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」を策定しました。

このプロジェクト作成での大きな課題は、中学校教育において、生徒数減少に伴う教職員数が減少し教科によっては教員の配当がなくなるなど、教育の質の低下が懸念されることです。

こうした課題を解決するための方策として、教育内容の充実を図るため、小中学校教職員が各学校間で連携協力し、9年間を見通した滑らかな学校教育を創造する必要があります。これに有効な指導の仕組みが「小中一貫教育」です。

令和3年度より、各中学校区の特性を活かしながら、小中一貫教育を実施しています。学習指導要領を基本として、義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、連続性・発展性をもって児童生徒の育成にあたっています。令和5年度は、児童生徒の交流機会を増やし、教育課程の連携、小中一貫した授業規律の確立、小学校のきめ細やかな指導と中学校の専門性を生かした指導方法の工夫改善に取り組み、小中一貫教育の充実を図ります。また、同時に地域と共にある学校として、令和元年度には、毛呂山中学校区、川角中学校区学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」がスタートしました。地域ぐるみで児童生徒を育てる体制を整備し、「地域をつなぎ、「いのち」輝く、日本一の学校づくり」を推進してまいります。

小中一貫教育を支えるコミュニティ・スクールは学校教育を地域の皆様方に支えていただく取組でもあります。令和5年度は、より多くの地域の皆様に教育活動を参観していただき、学校と保護者や地域の皆様方と一緒に協働しながら児童生徒の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。

今後も、小中一貫教育の研究を進めるとともに、地域とともにある学校づくりで教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図ることを目指し、「地域が輝き、世代が輝く人づくり」を進めてまいります。

特色ある学校教育の推進

事業名	内 容
小中一貫教育	小学校と中学校における連携を深め、義務教育9年間をとおして目指す児童生徒像を共有し、共通した教育方針のもと一貫した教育を推進していきます。
地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）	学校の課題に対し、保護者や地域住民が参画し、協働することで、地域総がかりで児童生徒の健やかな成長を支えていく体制づくりを進めていきます。
学力向上支援員	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、4小学校に4名の学力向上支援員を配置し、少人数指導・チームティーチングなどきめ細やかな指導の充実を図っています。
不登校対策相談員	不登校児童生徒数の減少とその解決のため、2中学校に2名の不登校対策相談員を配置し、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな対応や不登校の防止・早期対応に取り組んでいます。
学校支援員	特別支援学級で学ぶ児童生徒や、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒へ個に応じた指導を充実させるために、各小・中学校に学校支援員を配置し、支援体制を整えています。
教員業務支援員	教員がより一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に小・中学校に6名の教員業務支援員を配置し、教員の働き方改革の推進と学校教育活動の充実を図ります。
木城町交流事業	友情都市・木城町との交流の一環として、学校間の交流を深めるため、毛呂山町と木城町の小・中学校児童生徒の図画、書写作品を交換、展示しています。
ALT・国際理解教育	児童・生徒の国際理解教育、英語能力の向上を図るためALT（外国語指導助手）を4人配置しています。 海外留学疑似体験事業を実施し、実践的な体験を通して、児童・生徒の英語能力を高めるとともに国際理解を深めます。
理科支援員	児童の科学技術に関する興味・関心を高め、理科授業における観察や実験などの充実を図るために、理科支援員を各小学校に週1回（年間30回）配置し、小学校理科授業の支援体制を整えています。
中学生学力アップ教室（夢はぐくみ塾）	中学1、2年生を対象に、年間20日間実施します。「主体的に学習に取り組む力、学習に対する集中力の育成を図る」ことを目的とし、自主学習の進め方の指導や学習支援を行います。コーディネーターと学力向上支援員、大学生サポーターを配置します。
社会科研究展	児童生徒が夏季休業中に取り組んだ郷土の歴史や地理をはじめ、社会科に関することについてまとめた作品を、9～10月、歴史民俗資料館に展示して、優秀な作品については発表会を実施しています。

□ 学校教育

就学援助

家庭の事情（経済的理由など）に応じて、要保護及び準要保護児童・生徒に対し給食費、学用品費、修学旅行費、校外活動費、入学準備金などの就学援助を行っています。

（単位：人・円）

年度	毛呂小	川角小	光山小	泉野小	毛呂中	川角中	合計人数	金 額
28年度	61	54	40	49	59	68	331	21,380,227
29年度	73	65	42	44	95	84	403	26,182,953
30年度	60	63	30	33	82	61	329	23,704,329
元年度	63	55	29	35	61	44	287	23,849,712
2年度	67	60	32	39	83	70	351	14,585,486
3年度	65	59	45	40	68	65	342	26,988,876
4年度	61	45	48	33	80	63	330	11,492,567

特別支援学級の児童・生徒に対して就学奨励費補助を行っています。（単位：人・円）

年度	毛呂小	川角小	光山小	泉野小	毛呂中	川角中	合計人数	金 額
28年度	4	9	4	2	3	9	31	1,096,954
29年度	2	8	2	3	4	10	29	1,054,985
30年度	1	7	3	4	3	8	26	982,276
元年度	3	5	2	5	3	4	22	809,792
2年度	6	5	2	5	5	4	27	506,426
3年度	4	6	5	2	7	4	28	866,268
4年度	1	11	2	2	3	0	19	232,524

私立幼稚園預かり保育

少子化や核家族化及び女性の社会進出による多様な保育需要の対応と、子育て支援を推進するため、町内の預かり保育事業を実施する私立幼稚園に対して補助を行っています。

（単位：人・円）

幼稚園名	預かり保育実施園児数					補助金額
	満3歳	3歳	4歳	5歳	計	
ながせ幼稚園	29	138	150	183	500	3,550,000
合 計	29	138	150	183	500	3,550,000

[令和4年度実績]

児童生徒数と教職員数の見込 (単位：人・学級)

学校名	年度	令和5年度	令和10年度 (5年後)	令和15年度 (10年後)
	毛呂山小学校	児童数	331	274
	学級数	14	14	10
	教員数	16	16	11
川角小学校	児童数	338	198	182
	学級数	16	10	9
	教員数	18	13	11
光山小学校	児童数	216	168	120
	学級数	9	9	8
	教員数	9	10	9
泉野小学校	児童数	246	191	187
	学級数	11	8	8
	教員数	15	11	10
小学校計	児童数	1,131	831	704
	学級数	50	41	35
	教員数	58	50	41
毛呂山中学校	生徒数	388	276	208
	学級数	13	10	8
	教員数	20	18	13
川角中学校	生徒数	282	262	149
	学級数	11	12	8
	教員数	18	19	13
中学校計	生徒数	670	538	357
	学級数	24	22	16
	教員数	38	37	26

※教職員配当基準表より
(校長・教頭・養護教諭・
事務職員を除く)



「書道サークルさくら」による硬筆の指導(光山小学校)

教育センター

郵便番号 350-0451
所在地 毛呂山町大字毛呂本郷7番地4
電話番号 049(295)0622
049(295)2525教育相談室直通
F A X 049(295)8844
E - m a i l ksenter@town.moroyama.lg.jp
開設年月日 平成8年4月1日



沿革

毛呂山町教育センターは、平成8年4月に旧保健センターの建物をそのまま譲り受け、同年5月より業務を開始しました。今日抱える様々な教育課題や、学校及び家庭生活等の問題解決の一助として各種相談活動を展開しています。また、保護者・地域の要望にこたえるべく教職員の資質向上を図るため、研究研修機関としての役割も担っています。

目標

毛呂山町の将来を担うすべての子どもたちが、心身ともに健やかに成長することを願い、子どもたちの学校生活での不安や悩みなどの解決に向け、専門的な立場から支援をしていきます。併せて教職員の更なる資質の向上を目標とします。

施設概要

施設	教育相談室1、教育相談室2、学習室、研修室、スタッフルーム、和室、事務室
開館時間	午前8時30分から午後5時15分まで（月曜日から金曜日までの平日）
相談受付時間	午前10時から午後4時30分まで

事業の概要

1 教育相談に関すること

教育上の問題点や悩みをもつ幼児・児童・生徒及びその保護者への相談援助活動のため、次の事業を行っています。

- (1) 来所相談・電話相談・訪問相談
- (2) 就学相談・就学支援に関すること
- (3) 教育支援センターに関すること
- (4) 関係諸機関との連携に関すること
- (5) 教育相談についての調査・研究に関すること
- (6) 教育相談員の資質の向上に関すること

各種相談業務	対 象	相 談 内 容	相談（開設）時間
来所相談 電話相談 訪問相談	・保護者、地域の方等 ・幼児、児童、生徒 ・教職員、不登校対策相談員 その他	不登校、いじめ、家庭のしつけ、 就学、進路、学業成績、人間関 係、その他の悩み	・相談日（毎週月～金曜日） ・相談時間（来所・電話・訪問） 午前10時～午後4時30分
教育支援センター	町内小・中学生	生活・学習指導、体験学習等	午前9時30分～午後2時30分（平日）

2 研究・研修に関すること

教職員の資質の向上並びに本町の教育水準の向上を目的とし、次の事業を行っています。

- (1) 教科・領域に関わる研修に関すること
- (2) 生徒指導・教育相談（カウンセリング）研修に関すること
- (3) 学力向上・人権教育の研修に関すること
- (4) 年次別研修に関すること
- (5) 校内研修の援助に関すること
- (6) 幼・保・小・中の連携に関すること
- (7) 教育に関する資料の収集及び提供に関すること

令和5年度教育センター事業（研修）

(1) 授業力向上研修

No.	研 修 名	対 象	会 場
1	初任者研修会	初任者	各学校
2	2年経験者研修会	2年経験者	各学校
3	3年経験者研修会	3年経験者	教育センター、各学校
4	若手・中堅教員研修会	10年未満の経験者	各学校
5	「特別活動」研修会	希望者、初任者、2・3年経験者	教育センター、各学校
6	臨時的任用教員研修会	臨時的任用教員	各学校
7	毛呂山町支援員及び相談員研修会	学力向上支援員・学校支援員・不登校対策相談員	各学校

(2) 児童生徒理解研修

No.	研 修 名	対 象	会 場
1	生徒指導・教育相談中級研修会	学校カウンセリング初級研修修了者（各学校1名）	総合教育センター他
2	生徒指導主任等研修会	生徒指導主任及び希望者	教育センター
3	教育相談研修会	不登校対策委員、教育センター職員、不登校対策相談員及び希望者	教育センター
4	特別支援教育研修会	特別支援学級担任、学校支援員及び希望者	教育センター
5	人権教育授業研究会	人権教育主任等	各学校（班教育研究会と共催）
6	人権教育指導者研修会	小中学校管理職、人権教育担当教員、社会科担当教員	教育センター
7	人権教育6校合同講演会	小中学校教職員	東公民館

(3) 教育的二一ズによる研修

No.	研 修 名	対 象	会 場
1	GIGAスクール・プログラミング教室	小学校の3年生以上の希望者	毛呂山小学校コンピュータ室
2	郷土理解研修	新採用・転入教職員	歴史民俗資料館
3	幼・保・小・中連絡協議会	幼稚園・保育園・認定こども園・小学校教職員・中学校教職員	教育センター、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校

学校給食センター

郵便番号 350-0439
所在地 毛呂山町目白台4丁目3番地4
電話番号 049(294)2242
F A X 049(294)2265
E - m a i l kyusyoku@town.moroyama.lg.jp
開設年月日 昭和46年4月1日



沿革

本町の学校給食は、昭和29年から毛呂山小学校、昭和35年から川角小学校、さらに毛呂山中学校及び川角中学校では、昭和30年代後半に自校方式として開始されました。

昭和46年に毛呂山町川角地内（現在のふたば資料センター）にセンター方式を取り入れ、調理能力3,500食の学校給食センターとして業務を開始しました。その後、児童の増加により光山小学校、泉野小学校の2校が新設され、昭和51年には調理能力6,000食に増設されましたが、学校給食センターの老朽化、また、衛生基準の改正に伴い、平成17年7月より毛呂山町目白台地内に、オール電化方式による調理能力3,500食の新学校給食センターを建設し、平成18年9月より供用開始いたしました。

令和元年度から、将来に渡り安全・安心な学校給食を安定的・継続的に提供するために、学校給食センターにおける調理・配送業務の民間委託を開始いたしました。

目 標

本町の特産品でもある鶏卵・柚子等を利用した郷土食や、行事食等を取り入れた学校給食を心がけるとともに、献立の更なる充実、衛生面・栄養管理面の徹底に細心の注意をはらい、学校・家庭との連携を密にし、児童生徒の健全な成長の一助として、多様化する学校給食のより一層の向上を図ってまいります。

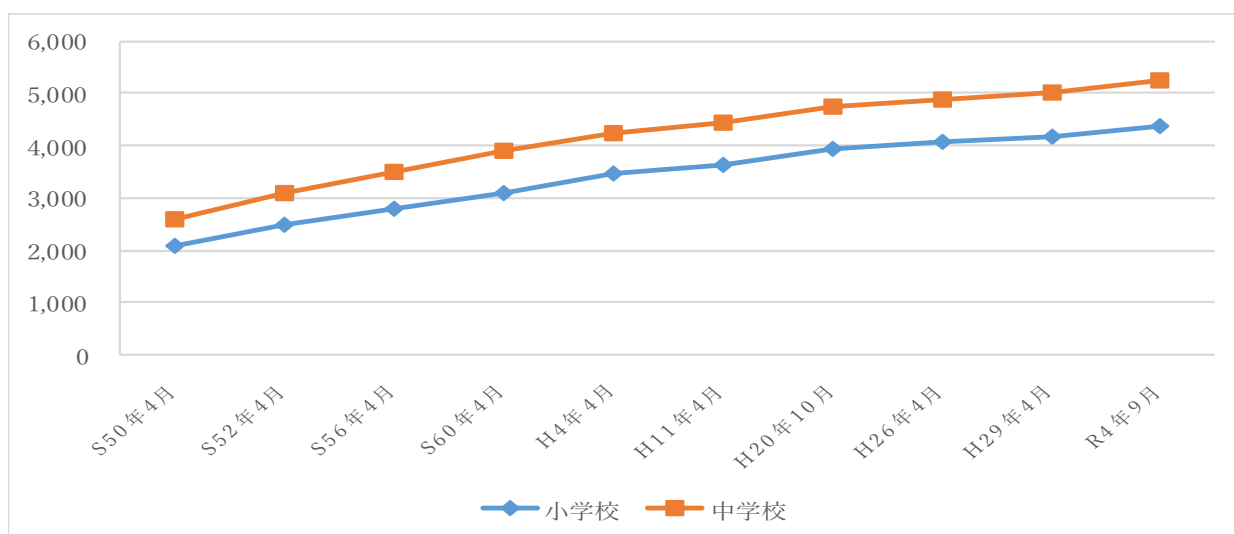


肉魚処理室
(鶏卵を割る作業)



調理室
(豚玉毛丼の具を作る作業)

学校給食費の推移



(単位：円)

改定年月	S50年4月	S52年4月	S56年4月	S60年4月	H4年4月	H11年4月	H20年10月	H26年4月	H29年4月	R4年9月
小学校	2,100	2,500	2,800	3,100	3,450	3,650	3,950	4,060	4,160	4,370
中学校	2,600	3,100	3,500	3,900	4,250	4,450	4,750	4,880	5,000	5,250

学校給食数の推移(児童・生徒数)

(単位：食)

年度	毛呂山小学校	川角小学校	光山小学校	泉野小学校	毛呂山中学校	川角中学校	合計
27年度	441	400	282	462	501	378	2,464
28年度	418	410	272	454	490	399	2,443
29年度	397	401	250	439	476	371	2,334
30年度	370	403	239	414	458	341	2,225
元年度	360	388	225	375	440	331	2,119
2年度	352	385	213	341	433	321	2,045
3年度	331	369	218	324	401	309	1,952
4年度	326	360	214	287	399	292	1,878
5年度	331	338	216	246	388	282	1,801

(各年度5月1日現在)

学校給食回数の推移

(単位：回数)

年度	給食回数	米飯	パン	めん
30年度	197	119	60	18
元年度	※1 179	109	54	16
2年度	※2 181	115	51	15
3年度	197	124	56	17
4年度	194	122	55	17

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休校のため15回分提供中止

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休校のため16回分提供中止

地元農産物使用量の推移

(単位：kg)

年度	使用量
30年度	6,472
元年度	8,324
2年度	12,125
3年度	11,171
4年度	10,268



毛呂山小学校

郵便番号 350-0465
 所在地 毛呂山町岩井西4丁目2番地1
 電話番号 049(294)0009
 F A X 049(294)3150
 E-mail moroyamae-001@bz04.plala.or.jp



学校教育目標

明るく 強く 正しく

- 明るい子(徳)
- 強い子(体)
- 正しい子(知)

学校の現況

校地面積 20,162㎡
 校舎延面積 5,015㎡
 体育館面積 944㎡
 教室数 普通教室14.特別教室15
 児童数 331人(R5.5.1現在)
 学級数 14学級
 教職員数 34人(R5.5.1現在)
 校長 示野 浩生
 教頭 岩瀬 和也
 創立年月日 昭和14年4月30日

学校の沿革概要

昭和14.4.30 毛呂山尋常高等小学校設置
 22.4.1 毛呂山小学校に改称
 30.4.1 毛呂山町、川角村合併
 33.9.1 育心寮分教場許可
 39.11.20 皇太子殿下夫妻分校視察
 42.4.1 特殊学級設置
 51.3.15 防音校舎B棟完成
 51.12.11 プール完成
 53.3.15 体育館完成
 平成 元.3.30 正門設置
 4.12.3 校舎大規模改修
 8.6.23 循環式自然観察池完成
 12.8.31 コンピュータ26台設置
 13.6 A棟教室扇風機設置
 15.4 ハイテクスクール指定
 (埼玉県教育委員会・毛呂山町教育委員会)
 16~17 学力向上プロジェクト実践協力校指定
 (埼玉県教育委員会・毛呂山町教育委員会)
 18.9 校内Wi-Fi無線LANの構築
 19.4 二学期制実施
 20.6 校舎耐震補強工事

22.3 開校70周年記念花壇完成
 22.12 iPad258台設置(教室)
 23.8 のぼり棒校庭設置(PTAより寄贈)
 24.8 ジャングルジム校庭設置(PTAより寄贈)
 25.4 ~28.3 地域に応じた学力向上推進
 モデル校(埼玉県教育委員会指定)
 25.3.15 A棟2階トイレ改修
 25.9.30 A棟2階西側トイレ改修
 25.9.30 B棟2階トイレ改修
 25.12 雲梯校庭設置(PTAより寄贈)
 26.3 天井崩落防止工事
 27.3 A棟3階東側トイレ改修
 27.8 A棟教室エアコン設置
 27.11 学童保育所整備工事(B棟1階)
 29.1 体育館大規模改造工事
 29.3 A棟3階西側トイレ改修
 29.4 新三学期制実施
 29.7 天井安全対策工事
 30.12 ズェットヒーター設置(PTAより寄贈)
 31.4 学校運営協議会設置
 令和2.2 かんたんテント購入(PTAより寄贈)
 3.2 長机12(PTAより寄贈)
 3.3 校内LAN構築及び学習用タブレット端末整備
 3.4 未来を拓く人づくり(小中一貫教育)
 モデル校委嘱(毛呂山町教育委員会)
 3.5 衛生設備自動水栓化
 3.11 小中一貫教育連絡橋「もろっ子橋」開通式
 4.10 体育館内Wi-Fi環境整備

学校の特徴

本校は、開校84年目を迎える歴史と伝統のある学校です。町の中央にある臥竜山のふもとに位置し、自然・社会環境に恵まれた地域にあります。

学校教育目標である「明るく 強く 正しく」を目指して教育活動を行っていきます。また、未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト『コミュニティ・スクール』を推進します。

「児童が学んだことを実感できる指導のあり方」というテーマで研究に取り組み、児童一人一人の学力向上を目指しています。

異年齢集団活動としての「毛呂っ子タイム」の他、田植え、稲刈り等の体験活動にも継続的に取り組んでいます。また、「ゆずの木音楽会」等により児童の感性を育てるとともに、郷土毛呂山を愛する心豊かな子どもたちを育てています。



川角小学校

郵便番号 350-0436
 所在地 毛呂山町大字川角1271-1
 電話番号 049(294)1142
 F A X 049(294)1364
 E-mail kawakadoe-001@bz04.plala.or.jp



教育目標

すすんでみがきあおう

- 豊かな心
- たくましい体
- 考える力

学校の現況

校地面積 17,072㎡
 校舎延面積 4,968㎡
 体育館面積 939㎡
 教室数 普通教室16.特別教室14
 児童数 338人(R5.5.1現在)
 学級数 16学級
 教職員数 36人(R5.5.1現在)
 校長 川野 幸一
 教頭 中村 卓也
 創立年月日 明治6年8月17日

学校の沿革概要

明治 6.8.17 川角小学校創立
 19.4.25 二葉小学校に改称
 26.1.14 二葉尋常高等小学校合併
 昭和16.4.1 川角国民学校に改称
 22.3.31 川角小学校に改称
 44.11.6 校歌制定
 48.12.20 開校100周年記念式典
 55.2.28 体育館完成
 56.6 プール完成
 平成 5.11 開校120周年記念式典
 12.9 コンピュータルーム改修
 14.7 図書室エアコン設置
 15.6 音楽室エアコン設置
 17.6 小学校体育授業研究発表会
 19.4.1 二学期制実施
 19.8 北校舎耐震補強工事
 21.3 音楽室・図書室70-リッパ工事
 22.3 ICT機器(iPad)導入
 23.3 南校舎1階トイレ改修
 23.3 校庭南側工事及びWiFi設置
 23.8 南校舎屋上防水工事

平成23.12 元気のある学校づくり研究発表会
 24.9 体育館耐震補強工事
 25.3 南校舎2階トイレ改修
 26.2 階段手摺り設置
 26.3 北校舎中央2階トイレ改修
 27.3 北校舎東3階トイレ改修
 28.3 エアコン設置工事完了
 29.3 北校舎中央3階トイレ改修
 29.3 保健室前多機能トイレ設置
 29.4 新三学期制実施
 30.6 プール塗装修繕工事
 31.4 学校運営協議会設置
 令和 元.7 学童保育所整備工事(南校舎1階)
 3.3 校内LAN構築及び学習用タブレット端末整備
 3.5 衛生設備自動水栓化
 3.9 体育館屋根改修工事
 4.10 体育館内Wi-Fi環境整備
 5.4 開校150周年記念行事事業開始

学校の特徴

本校は、本年開校150周年を迎える伝統ある学校です。現在、地域とともに輝く学校づくりをめざし次のことがらを実践しています。

1 確かな学力の定着

基礎基本の定着と学習規律の確立に取り組んでいます。また、教員の授業力向上のため、授業研究会を計画的に実施し、少人数指導による授業改善や問題解決学習を行い児童の考える力の育成にも力を注いできました。

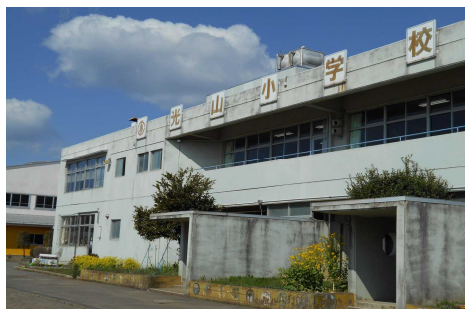
2 豊かな心の育成

本校では、児童の体験活動と食育を充実するため、学年に応じた校外学習や、総合的な学習の時間に米作り(5年生)を行っています。また、学校環境を潤いのあるものにすると同時に一人ひとりの意識を高めるために、全校一人一鉢の花を育てたり、自問清掃に取り組んだりしています。さらに、道徳の授業についても全校一斉公開で行う日を設け、家庭でも道徳について考えていただく機会としています。



光山小学校

郵便番号 350-0434
 所在地 毛呂山町大字市場475
 電話番号 049(294)3032
 F A X 049(294)3055
 E-mail kouzane-001@bz047.plala.or.jp



教育目標

～今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校～

- 心豊かな子
- すすんで学ぶ子
- たくましい子

学校の現況

校地面積	22,144㎡
校舎延面積	5,911㎡
体育館面積	944㎡
教室数	普通教室9・特別教室21
児童数	216人(R5.5.1現在)
学級数	9学級
教職員数	26人(R5.5.1現在)
校長	前田伸吾
教頭	赤地桜
創立年月日	昭和50年4月1日

学校の沿革概要

昭和50.3.25	光山小学校竣工
50.4.1	光山小学校開校
50.5.2	光山小学校開校記念式典挙行 (開校記念日に指定)
50.6.23	プール完成
50.9.1	校章制定
51.11.23	校歌制定
54.3.10	体育館完成
55.6.30	「ほうたんの森」設置
59.3.21	校旗一式作成
平成元.12.9	学校の木「樟」制定
7.2.19	校名大看板設置・体育館緞帳新調 (開校20周年PTA記念事業)
9.9	高架水槽改修工事
10.3	散水栓設置工事
12.12	屋上防水工事
13.9	中庭マット等張替え工事
14.8	体育館耐震補強工事
17.7	東門扉設置工事
19.4	二期制実施
22.3	外トイレ改修工事
23.8	校舎耐震補強工事

平成24.3	南校舎1階西トイレ改修
25.8	消防・放送設備改修
26.3	南校舎1階東側トイレ改修
27.3	南校舎2階東側トイレ改修
27.8	普通教室空調設備設置工事
28.9	南校舎2階西側トイレ改修
28.9	公共下水道接続工事
29.4	新三学期制実施
30.8	体育館非構造部材落下防止工事
31.3	投てき板撤去
31.4	学校運営協議会設置
令和 3.3	校内LAN構築及び学習用タブレット端末整備
3.5	衛生設備自動水栓化
3.6	プール改修工事
4.10	体育館内Wi-Fi環境整備

学校の特徴

本校は開校49年目の町内3番目に開校した小学校です。正門を入ると、本校教育のシンボルである「ひまわり」の絵が、来校される方々を明るく迎えます。

校舎は中庭を囲む四角い造りです。中庭は、上ばきのままで一輪車遊びや縄跳びができ、今も子供たちに人気の遊び場となっています。校庭東側には「ほうたんの森」と呼ばれる林があります。昔この地にあった「ほうたん坊」という沼の名に由来しており、子供たちの憩いの場となっています。

光山小学校のここがすばらしい!

- ほうたんの森
開校当時の雑木林が残り、理科、生活科、総合的な学習の時間等の学習の場となっています。
- 中庭
緑の中庭には、上ばきのまま出入りができます。一輪車や縄跳びなど休み時間の遊び場であり、植物や生き物の観察などができる学習の場でもあります。
- あいさつができる子供たち
時と場に応じた元気なあいさつができる子が多く、皆、生き生きとした学校生活を送っています。
- 地域の教育力
登下校時の見守り、読み聞かせ、学習等、地域の方々の協力支援が多めで地域に根ざした学校です。



泉野小学校

郵便番号 350-0441
 所在地 毛呂山町大字岩井353
 電話番号 049(295)3591
 F A X 049(295)3592
 E-mail izuminoe-001@bz04.plala.or.jp



教育目標

学び合い、高め合い、認め合い、支え合う 笑顔あふれる学校

- かしこく
- なかよく
- たくましく

学校の現況

校地面積 24,373㎡
 校舎延面積 5,418㎡
 体育館面積 941㎡
 教室数 普通教室11・特別教室17
 児童数 246人(R5.5.1現在)
 学級数 11学級
 教職員数 34人(R5.5.1現在)
 校長 塚越 崇
 教頭 深田 陽作
 創立年月日 昭和55年4月1日

19.8.28 時計棟外壁塗装工事
 20.9.5 北棟外壁塗装工事
 21.10.31 開校30周年記念式典
 22.9.30 校舎耐震補強工事
 24.3.19 南棟1階トイレ改修工事
 24.9.28 体育館耐震補強工事
 25.9.30 南棟2階トイレ改修工事
 26.9.30 南棟3階トイレ改修工事
 26.9.30 消防・放送設備改修工事
 27.10.31 普通教室エアコン設置工事
 28.9.28 北棟1,2階トイレ改修工事
 29.4.1 新三学期制実施
 31.4.1 学校運営協議会設置
 令和 3.3.26 校内LAN構築及び学習用タブレット端末整備
 3.5.19 衛生設備自動水栓化
 3.9.30 体育館屋根改修工事
 4.10.13 体育館内Wi-Fi環境整備

学校の沿革概要

昭和55.4.1 泉野小学校創立
 55.7.28 プール完成
 56.3.20 体育館完成
 57.2.13 校歌制定
 61.7.5 校旗制定
 61.9.1 運動場整備工事
 平成元.10.28 開校10周年記念式典
 9.4.1 特色ある学校づくり研究開始
 11.11.5 開校20周年記念事業
 14.3.31 アスレチック広場工事
 17.3.31 新校舎 6教室完成
 18.1.26 アスレチック広場再設置工事
 19.4.1 二学期制実施

学校の特徴

本校は、昭和55年毛呂山小学校から分かれ、町内で4番目に開校した小学校です。周辺には水田や川があり、自然環境に恵まれた学校です。本校の学校教育目標は、「かしこく・なかよく・たくましく」です。また、コミュニティ・スクールとして家庭・地域の教育力の活用や小中一貫した『いのちの教育』を進めることで、「知」「徳」「体」の調和のとれた児童の育成を目指すとともに、子どもが安全で安心でき、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進めています。

本校の特色は、学習規律や、よい生活習慣を身に付け、あいさつ運動や黙動清掃に全児童が取り組んでいることです。また、埼玉医大生、認定こども園との交流活動など、地域と密着した体験活動を取り入れ、様々な人とのふれ合いを通じて豊かな心の育成を図り、児童の生きる力と絆を積極的に育てています。



毛呂山中学校

郵便番号 350-0465
 所在地 毛呂山町岩井西4丁目12番地1
 電話番号 049(294)0019
 F A X 049(294)0421
 E-mail moroyamaj-001@bz04.plala.or.jp



教育目標

■「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」

自ら学び 共感し 行動できる生徒

学校の現況

校地面積 25,067㎡
 校舎延面積 5,097㎡
 屋内運動場面積 体育館1,698㎡ 武道場389㎡
 教室数 普通教室13,特別教室19
 生徒数 388人(R5.5.1現在)
 学級数 13学級
 教職員数 37人(R5.5.1現在)
 校長 上原 英 樹
 教頭 赤 松 武
 創立年月日 昭和22年4月28日

学校の沿革概要

昭和22. 4.28 旧東雲高等小学校校舎で開校
 27. 5. 7 新校舎落成
 37. 5. 5 生徒の歌制定
 41.12.18 体育館完成
 52. 3.31 防音校舎全計画完了
 55. 1.22 校歌制定
 63. 3. 3 第2体育館完成
 平成 8.10. 5 開校50周年記念事業
 10.10.19 さわやか相談室開設
 12. 5.30 ICT° ッタ室ICT° ネット接続
 14. 7. 1 図書室エアコン設置工事完成
 18. 3.31 ICT° ッタ機種入替
 19. 4. 1 二学期制実施
 21.10.20 校舎耐震補強工事完成
 24. 4.19 武道場落成式
 24. 8.29 ICT° ッタ機種入替
 25.12.16 階段手摺設置工事完成
 26. 8.29 普通教室エアコン設置工事完成
 27. 3.30 防球ネット改修工事完成

27.11.27 校舎東棟大規模改造工事完了
 29. 1.29 校舎西棟大規模改造工事完了
 29. 4. 1 新三学期制実施
 29.10.13 武道場天井落下防止工事完了
 31. 3.25 体育館改修工事完了
 31. 4. 1 学校運営協議会設置
 令和元. 9.15 ICT° ッタ機種入替
 3. 3.26 校内LAN構築及び学習用タブレット端末整備
 3. 4. 1 未来を拓く人づくり(小中一貫教育)モデル校
 3.10.12 衛生設備自動水栓化
 3.11.19 小中一貫教育連絡橋「もろっ子橋」開通式
 4.10.13 体育館内Wi-Fi環境整備完了

学校の特徴

本校は、開校77年目を迎える地域に根づいた伝統ある学校です。「自ら学び、共感し、行動できる生徒」を学校教育目標として、「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」を育む学校づくりを進めています。また、小中一貫教育とそれを支えるコミュニティ・スクールを推進しています。

○学力の向上を目指して

基礎基本の確実な定着を図るためにきめ細かな学習指導として、数学は、チームティーチングで授業を進めています。また、学び合い学習を通し、主体的・対話的・深い学びを実践しています。

○生徒指導のさらなる充実を目指して

教育相談体制の充実を図るため、生徒指導部会と教育相談部会の共通理解促進と共通の施策立案を行い、いつでも誰にでも相談できる体制を確立していきます。

○「豊かな心」の育成を目指して

道徳教育・人権教育・特別活動との連携を図り、心の教育を推進してまいります。また、中学生期に大切な部活動にも積極的に取り組み、健全な心身と体づくりを行ってまいります。

○小中一貫教育の充実を目指して

小学校へ社会の乗り入れ授業を行い、小中一貫教育の充実を図ります。

川角中学校

郵便番号 350-0436
 所在地 毛呂山町大字川角264番地1
 電話番号 049(294)0142
 F A X 049(294)6710
 E-mail kawakadoj-001@bz04.plala.or.jp



教育目標

- 「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」
 ■進取（自ら学び、絶えず努力する生徒）
 ■克己（心や体を鍛え、困難に打ち勝つ生徒）
 ■親和（進んで奉仕し、平和を愛する心豊かな生徒）

学校の現況

校地面積 34,887㎡
 校舎延面積 6,101㎡
 屋内運動場面積 体育館1,345㎡ 武道場397㎡
 教室数 普通教室11 特別教室22
 生徒数 281人(R5.5.1現在)
 学級数 11学級
 教職員数 32人(R5.5.1現在)
 校長 小熊 三矢子
 教頭 小川 真享
 創立年月日 昭和22年4月1日

学校の沿革概要

昭和22.4.1 川角村立川角中学校創立
 30.4.1 毛呂山町立川角中学校に改称
 46.1.26 校歌制定
 48.3.10 体育館完成
 49.9.3 新校舎第1期完成
 52.3.25 新校舎第2期完成
 53.2.25 新校舎第3期完成
 56.3 校庭拡張、武道館、プール完成
 平成 8.11.30 開校50周年記念式典
 19.2.20 開校60周年記念誌発行
 22.8.31 北校舎耐震補強工事完了
 23.8.31 体育館耐震補強工事完了
 25.11.12 武道場改修工事完了

25.11.29 南校舎棟大規模改造工事完了
 26.12.12 空調設備設置工事完了
 27.1.20 北校舎棟・昇降口棟・北校舎棟
 西側増築棟大規模改造工事完了
 29.12.27 体育館大規模改造工事完了
 30.2.28 武道館吊天井落下防止工事完了
 31.4.1 学校運営協議会設置
 令和 元.6.27 空調設備設置工事（職員会議室）
 3.3.26 校内LAN構築及び
 学習用タブレット端末整備
 3.5.19 衛生設備自動水栓化工事完了
 4.10.13 体育館内Wi-Fi環境整備完了

学校の特徴

緑に恵まれた環境の中で、よさを伸ばし、社会に貢献する生徒の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。部活動や学校行事に前向きな生徒が多くいます。学校運営協議会制度を導入し5年目となり、地域社会と一体となって子どもを育てる学校です。

指導法の改善等による基礎学力の向上

「学び合い」を通じて、主体的・対話的で深い学びを実践し、基礎学力の向上を目指しています。

心豊かな情操を育てる指導

心豊かな人づくりの一環として、日々の清掃活動はもとより、PTAと合同の除草作業を実施する等、環境の美化に重点を置いています。また、小中一貫教育として、小中教職員や児童生徒の交流を充実させていることに加え、積極的に地域人材等を活用し、コミュニティ・スクールを推進しています。さらに、「いのちの教育」として福祉教育を推進し、ボランティア活動も進めており、地域から愛される学校を目指しています。

生涯学習

～楽しもう生涯学習～
いきいき わくわく
みんなが主役



放課後学習教室

沿革

昭和30年、現在の毛呂山町誕生とともにスタートした教育委員会は教育長を含めた3人で組織されていました。同年「公会堂」を「公民館」に改め、「毛呂山町公民館」、「毛呂山町公民館川角分館」として公民館的機能を有するようになりました。昭和40年代になると、社会教育係が設置され、社会教育の体制作りが本格的に推進され始めます。

昭和44年に毛呂山町公民館が完成しました。昭和53年には、現教育センター地内に町立図書館を設立するとともに、8年の歳月をかけた『毛呂山町史』を発行しました。昭和59年には、旧役場庁舎跡地に現在の中央公民館が完成し、昭和62年には、現在の図書館が完成しました。平成元年10月、毛呂山総合公園体育館の完成と、それを契機とした「毛呂山町スポーツ健康都市宣言」を表明しました。平成5年3月、歴史民俗資料館が完成し開館。平成6年10月には、毛呂山町合併40周年の節目に、大類グラウンドが完成しています。さらに生涯学習の拠点施設として、平成14年5月には木造の東公民館が開館、同年9月には第59回彩の国まごころ国体成年ソフトボール競技の会場地になった大類ソフトボールパークも完成しました。

また、平成18年3月に生涯学習推進のため、「第二次生涯学習基本計画・いきいき わくわく まなびすとプランⅡ ～学びあいとふれあいのまちづくりをめざして～」を策定し、第三次計画については、平成23年3月策定の毛呂山町教育振興基本計画に組み入れました。さらに平成22年10月には、『新毛呂山町史』を発行し、令和3年3月には第3期毛呂山町教育振興基本計画が策定され、生涯を通じた多様な学習活動の振興を推進しています。

目 標

少子高齢化や情報化が急速に進展し、町民を取り巻く社会環境も大きく変化していく中で、改めて社会教育が果たす役割に注目します。とくに町民一人一人が、互いを尊重し、多様な在り方を認め合える共生社会の考え方や人が交流するところに必ず人権課題があるという考えに立ち、人権教育を推進します。また、地域課題の解決や地域のコミュニティづくりのために人材を発掘し、これまでの学習活動の成果を地域に還元する仕組みをつくります。

1 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

家庭教育は、子供の基本的な生活習慣や学力、社会でのルールを身に付けさせるために重要な役割を担っています。しかし、近年の社会環境の著しい変化は、地域コミュニティの希薄化、少子化や保護者の意識の変化もあり、家庭教育の環境づくりにも様々な影響を及ぼしています。

本年度は、町内小学校4校の次年度就学児童の保護者を対象に、家庭教育の大切さ、親の役割や親子の関わり方等、専門の派遣アドバイザーを招いての「親の学習」講座・子育て講座を開催する予定です。本講座は、保護者同士のコミュニケーションを図る機会としても有用性があり、アドバイザーと連携しながら事業を進めます。

今後は、学齢に応じた「親の学習」の機会として、中学生の保護者へも拡大したいと考えます。

(2) 放課後の児童への学習支援

令和3年度より、放課後の居場所づくりと基礎学力向上、地域住民と学校との連携を図ることを目的とし、小学4年生を対象とした「放課後学習教室」を開設しました。この事業は、「学校・家庭・地域が一丸となって”毛呂山の子ども”を育てよう」という考えのもと、地域やPTA・学生等、多くの方にサポートしていただく事業で、令和4年度から対象学年を3年生・4年生に拡大し実施しています。

(3) 地域学校協働活動の推進・充実

地域学校協働活動とは、地域の方々の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動をいいます。

これまで、地域と学校はゲストティーチャーや学校応援団など様々な活動を連携・協働して行ってきましたが、令和3年度から中学校区毎に地域学校協働活動推進員を委嘱し、協働活動のコーディネーター役として活動していただいております。

また、学校の余裕教室にコミュニティ・ルームを設置し、活動を円滑に進めるための拠点とします。

2 生涯を通じた多様な学習活動の振興

(1) 生涯学習体制の整備・充実

生涯学習とは、町民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会や場所において主体的に行われる学習活動で、その形態は様々です。町ホームページを十分に活用し、町主催事業だけでなく近隣大学の公開講座等を加え、学習情報を効果的に提供するように努めます。

(2) 学習機会の提供と学習活動の支援

生涯学習の趣旨に則って、ライフステージに応じた学習機会を提供することで、住民の学習意欲を喚起し、学びの循環を作ることはまちづくりにとって大切なことです。住民が自発的に

□生涯学習

学ぶことで、やりがいや生きがいをもち、心豊かな生活を送り、社会参加自体を楽しむことができるような学習機会を作ります。

高齢者学級・いきがい学級として定着している「寿大学」は、学習テーマを設け実施します。

坂戸市・越生町、さらに城西大学、明海大学、日本医療科学大学との連携による「子ども大学にしいるま」を開校します。地域の大学による専門性を活かした授業は、子供たちの好奇心を刺激するとともに、子供たちの学ぶ力や生きる力を育みます。

また、毛呂山町文化協会、毛呂山菊花会、毛呂山町民踊連盟等の生涯学習に組織的に取り組む団体に対して補助金を交付し、事業の活性化等の支援を行います。

（３）人材の育成と学習成果の地域還元

学びの成果を地域に還元する場を提供することは、学習者が主体的に活動する意欲や向上心の醸成にもつながります。

毛呂山町には、豊富な経験や優れた技能をもつ人材がおり、地域の中でそれぞれの得意分野で活躍してもらうため「毛呂山町生涯学習ボランティア人材バンク」を開設しています。人材バンクの登録制度を広く周知するとともに、実際の活用事例をホームページ等で紹介しながら利用促進を進めます。

また、令和元年度からスタートしたコミュニティ・スクール制度のもと、地域人材の活躍の場でもある地域学校協働活動によって、地域と学校が連携・協働して進めていく「学校を核とした地域づくり」の推進に努めます。

【令和4年度人材バンク登録数】

□登録者数 個人25人、団体7団体

□活用数 1件（個人1件）

（４）地域ぐるみでの青少年育成活動の推進

少子化や地域コミュニティの希薄化に加え、スマートフォン等を媒体としたSNSの普及により、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。令和5年度も毛呂山町PTA連合会、毛呂山町青少年相談員協議会、毛呂山町青少年育成町民会議、毛呂山町子ども会育成会連絡協議会、毛呂山町青少年を見守る会等の各種団体に協力をいただき、青少年の非行防止活動を実施します。

また、青少年育成団体等との合同による「子育て講演会」や「彩の国21世紀郷土かるた毛呂山町大会」を通じて、地域ぐるみで青少年を育成する機運を高めます。

（５）人権教育の推進

生涯学習における人権教育は、町民一人一人が人権問題を正しく理解し、子供から高齢者に至るまで、お互いの人格を尊重しあえる「共生社会」の実現を目指して進められる教育です。

身近な人権問題は、「共生社会」の中で継続的に取り上げられるべき学習課題に位置づけられます。

令和5年度は、身近な人権から社会問題まで、様々な人権について考える生涯学習人権教育講座「考えよう 住みよい社会と人権課題」シリーズ11を企画し、開催します。また、社会教育関係団体の役員や町職員、教職員等の資質の向上を図るため「人権教育指導者養成研修事業」を開催します。

専門の講師による講義によって身近な人権に関する知識を深め、さらに一人一人が人権保護・擁護の姿勢や行動をとることができ、人権感覚を育てられるように努めます。

【参考 令和4年度主催・共催事業】

事業名	会場	回数(期日)	参加人数	事業内容
放課後学習教室	町内4小学校	28回	登録100人	小学3・4年生を対象に、学校の余裕教室を活用し児童の「安全・安心な居場所」と「自主的な学びの場」を提供する
生涯学習人権教育講座 「考えよう 住みよい社会と人権課題」シリーズ10	中央公民館	7回	延べ124人	普遍的な差別、いのちの電話、介護、ハラスメント、LGBTQ、医療現場における人権等をテーマにした専門家による講義
人権教育指導者養成研修事業	役場等	5回	延べ203人	団体や教職員等を対象に、差別、子供の非行、外国人の人権、がん医療と人権等についての講義
第67回二十歳のつどい	ウィズ もろやま	1/8	232人	マスク着用、会場内の立ち入りは対象者に限定し、式典のみを挙行
寿大学	山根荘	3回	58人	人数を制限し、同一内容で実施。これだけは知っておきたい法律講座「消費者講座」を開催
子ども大学にしいるま	城西大学	3回	参加児童数 3市町18人	城西大学、明海大学との連携により、各大学の特徴を活かした教室等を開催
子育て講演会	ウィズ もろやま	1回	延べ115人 内動画視聴 34人	毛呂山町青少年育成町民会議・毛呂山町PTA 联合会主催の講演会を開催



二十歳のつどい



寿大学

□ 生涯学習

【新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった事業】

事業名	事業内容
「彩の国21世紀郷土かるた」 毛呂山町大会	毛呂山町子ども会育成会連絡協議会との共催により開催
「親の学習」講座・子育て 講座	家庭教育における親の役割や親子の関わり方について、講演会を実施 【資料配付】